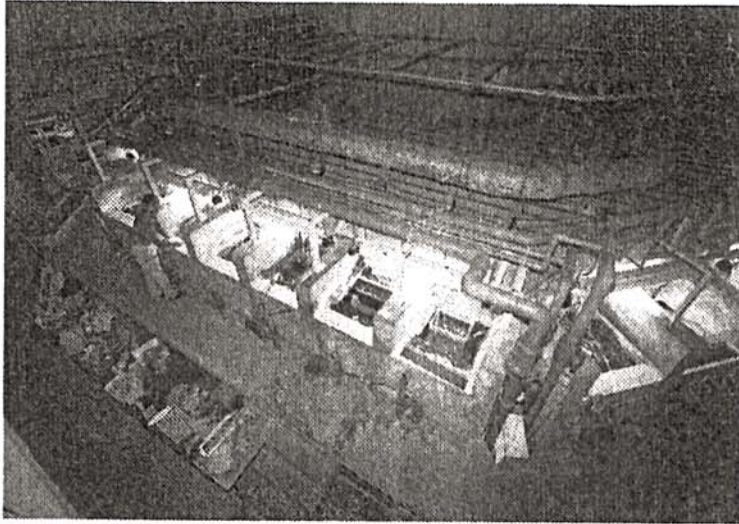




普段は目にすることのない水族館の裏側
(白浜町の京都大学水族館で)

水族館の裏側見てみよう

京都大学
水族館

初の冬休み「解説ツアー」

白 浜

白浜町の京都大学瀬戸臨海実験所の同大学水族館は25日～1月10日(三日は除く)、冬休み特別イベント「水族館解説ツアー」を初めて開く。「水槽めぐり」のほか、普段見られない裏側をのぞく「裏側めぐり」もある。

これまで同水族館は磯の観察会など子どもたちに自然を体験してもらうイベントを行ってきたが、今回、天候に左右されないイベントとして解説ツアーを開くことになった。

「どのように飼育されているのか」「どんな施設があるのか」など、水族館の裏側をのぞく裏側めぐりは午前10時半～11時と午後2時半～3時の1日2回。1回の定員は10人。水槽の生物について話を聞く水槽めぐりは午前11時～11時半と午後3時～3時半の2回。1回の定員は20人。

それぞれ当日に水族館窓口で申し込めばよい。入場料は必要だが、保護者同伴の小学生は入場無料。解説は同実験所の教員と技術職員が担当する。

問い合わせは同水族館(0739・42・3515)まで。